

第74号



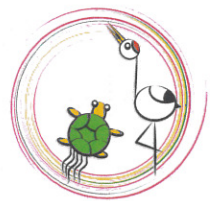
# 琴清苑だより

発行：社会福祉法人 双葉会  
介護老人福祉施設 琴清苑  
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099  
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706  
URL <http://web.futabakai.or.jp>  
e-mail [kinseien@futabakai.or.jp](mailto:kinseien@futabakai.or.jp)



奥多摩湖



## 新年を迎えての想い

琴清苑副苑長 佐々木 健児

平成29年11月1日に双葉会理事佐藤泰信氏が逝去されました。前常務理事として双葉会運営に大きな足跡を残されました。

ご冥福をお祈りいたします。

さかのぼる事、34年前の昭和59年に前常務と出会いました。福祉施設のことを何もわからない私が縁あって琴清苑に就職し、その時に琴清苑の副施設長兼生活指導員と言う職種で活躍されておりました。当時の琴清苑は事務長が疲労で入院、事務員が疾患で入院、生活指導員が前年に退職し、組織として混乱をしておりました。

そんな中、琴清苑の運営の中心として活躍されておりました。約一年後、寿楽荘の施設長として栄典されました。一年間公私共に一緒にいる時間が多く、充実した時を過ごさせて頂きました。その時、一緒に行動していた方が、当時栄養士で後の琴清苑事務長、現寿楽荘施設長の奥平周二施設長でした。福祉施設に対する思いや、双葉会に対する思いについて本当に苦労しながら同じ時を過ごさせてもらい、現在の自分があるように思っております。

そんな佐藤前常務が常々言っていた事で琴清苑の改築事業が自分の最後の仕事だとおっしゃっておりました。今年からは琴清苑の全面改築の計画が始まってまいります。介護保険制度下で苦しい運営になっている琴清苑の今後二十年が安定して運営していけるように、大野尚苑長を中心に全員一丸となって頑張っていく所存でございます。

ご理解ご協力をお願い申し上げます。



# 琴清苑職員紹介



調理職員

川崎 裕紀

私は、平成29年6月より厨房職員として入職し、今月で7カ月目となります。これまで、飲食業界での経験はありますが、介護施設の厨房経験は初めてになるので、まだまだわからないことの多い毎日を奮闘しています。しかしながら、先輩方からの助言や指導を頂ける環境で仕事ができるので、早く一人前として認められるよう、これからも努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

## 訃報

社会福祉法人双葉会の佐藤泰信理事が、平成29年11月1日、病気のため、享年62歳にて永眠されました。  
ここに、故人のご冥福をお祈りし、謹んでお知らせ申し上げます。

## 被服販売

平成29年11月5日

今年も毎年恒例の秋の被服販売（森田屋洋品店）のため、事前に利用者一人一人に購入希望を聞き取りました。参加した利用者さんは自分で洋服を手に取り、どれを買うか悩まれたりしていました。見に来られない利用者さんには職員が居室へ洋服を持っていき選んで頂きました。皆さん気に入った洋服を購入できてとても喜ばれていました。また、来年の春に希望者を募り開催したいと思えます。

介護主任 松久

## 小平父の会訪問

今年も11月23日に東京都小平市の子供達が琴清苑を訪問され、利用者の皆様に歌を披露していただきました。



## 施設内クリスマスイルミネーション





# ホーム喫茶

平成29年12月19日

12月19日にホーム喫茶を行いました。今回の喫茶では、鰯を寄贈して頂いたため、塩焼きにして利用者の皆様に、提供いたしました。切り身ではない、尾頭付きの魚を目にして大変喜んでおりました。普段は刻み食を食べている方も鰯の塩焼きを食べて、美味しいと話しております。また、デザートにはクリスマスが近いこともあるので、イチゴのケーキとイチゴのムースの提供を行ない、こちらも喜んで食べていただきました。

今後皆様楽しんで頂けるよう、喫茶店を計画していきます。

管理栄養士 新堀



## 虹鰯の寄贈

奥多摩町社会福祉協議会を介し、海澤の牧野様より、沢山の虹鰯を寄贈していただきました。

お施設行事のホーム喫茶に、提供させていただきます。

た。利用者皆様に喜んで頂きたいです。

好評です。非常にお喜びの笑顔を見ました。

心より感謝申し上げます。



# 氷川保育園クリスマス会





# 謹賀新年

医師 柚木 雅至

門松や おもへば一夜 三十年 松尾 芭蕉

明けましておめでとうございます。今年は平成30年。30年前の1月7日、ニュースで小淵官房長官が「平成」を掲げて新年号を発表したのを今でも鮮明に覚えています。冒頭の芭蕉の句のように、30年も過ぎてしまえばあっという間であったというのが実感です。戦後の焼け野原から、モウレツに頑張っ右肩上がりの成長を果たした昭和。パソコン、スマホが爆発的に普及し、情報革命が起こった平成。そして今、この平成も間もなく終わりを迎えようとしています。次の新年号の時代はどのように展開していくのでしょうか。

これだけ発展し便利な世の中になったにもかかわらず、世界的調査では日本は幸福度が低く、自殺率は高い状態が続いています。豊かになっても便利になっても、いまだに幸せになれない日本。今後、情報革命やテクノロジーはますます進化し、仕事にも日常生活にも人工知能（AI）やロボットが当たりまえのように存在している時代が来るのは間違いないかと思いますが、たとえAIやロボットに適切に管理、介助され、生活がどれだけ快適で便利になったとしても、それだけで人の心が満たされることはないと思います。究極的に人間はどうしても他者とのふれあいや愛情を求めずにはいられない存在です。特に我々が携わっている医療や介護の現場でその傾向は顕著であろうかと思ひます。そこに我々医療・福祉の現場で働く者にとって、機械が取って代わることが出来ない役割、存在価値があるように思ひます。今より少しでも幸せな時代になることを切望します。

本年もよろしくお願い致します。

## 介護プロフェッショナルキャリア段位制度 レベル認定取得

認定：レベル3（2017） 原島 寿々江（認定NO.0013849 - レベル3）

本人コメント：アセッサーをはじめ、職場の協力により取得することができました。これから先の仕事に活かしていきたいです。

認定：レベル3（2017） 島崎 美雪（認定NO.0013853 - レベル3）

本人コメント：業務中、キャリア段位を取得させていただきありがとうございました。また、職員の方、ケアマネジャーに協力をいただき、なんとか終了することができました。今後はこれを活かし業務にあたりたいと思ひます。

認定：レベル3（2017） 清水 恵（認定NO.0013858 - レベル3）

本人コメント：琴清苑にお世話になり、17年が過ぎました。約1年間キャリア段位の取り組みをさせていただきました。自分自身への振り返りが沢山あり、初心に返って学ぶことができました。これからも少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。

## レベル認定取得おめでとうございます！

※ 琴清苑では、平成29年12月31日時点で、評価者（アセッサー）取得者2名、レベル4認定者（3名）、レベル3認定者（3名）、レベル2②申請中（1名）となっています。

### ◆編集後記◆

山梨県上野原の山火事鎮静のため、自衛隊の災害ヘリが昨日、日と幾度となく旋回していきました。何年か前の大雪を思い出した。大雪が降らないことを願うばかりです。

吉井

### 《入苑された利用者》

10月	平成29年10月	12月
立川市	10月	12月
八王子市	11月	12月
奥多摩市	11月	12月
福生市	12月	12月
1名	1名	1名

### 《ボランティア状況》

トミヨ会  
奥多摩指圧奉仕会  
おくたま傾聴ボランティア  
ふくろう

平成29年10月～12月  
(敬称略)

### 行事予定

1月	1日	新年挨拶
2月	3日	初笑い大会
2月	9日	誕生会
2月	15日	節分
3月	9日	誕生会
3月	13日	誕生会
3月	23日	ホーム喫茶
		彼岸供養

